



くまんだより

熊野川懇談会ニュース



第4回熊野川懇談会が開催されました
第3回熊野川懇談会以後の活動報告
新任委員紹介
「熊野川を語る会」での主な話題
閲覧資料設置場所



2006年3月発行

第4回熊野川懇談会が開催されました

第4回熊野川懇談会が平成18年3月4日(土)に新宮商工会議所大ホールで開催されました。懇談会では、これまでの経過報告、新任委員の紹介、語る会での話題の報告の後、熊野川の治水、今後の進め方等について審議が行われました。

第4回 熊野川懇談会の概要

開催日・場所

日時：平成18年3月4日(土)
場所：新宮商工会議所 大ホール
参加者：懇談会委員 12名(4名欠席)
河川管理者等 7名
傍聴者 30名



会場の様子(新宮商工会議所大ホール)

審議内容

1. 経過報告・新任委員紹介

補充委員選考会(平成17年8月20日開催)、課題検討会(同)、語る会(平成17年10月~平成18年1月)等の経緯およびその内容が報告されました。また、竹中委員の後任として選考された古田委員の経歴の報告と自己紹介が行なわれました。

2. 語る会での話題について

流域内の6箇所で開催された「語る会」での話題が紹介されました。提供された話題については、各会場ごとに作成された議事録を一冊にまとめ、「熊野川を語る会 議事録集」として閲覧資料に加える外、ホームページで公開されることとなりました。

3. 熊野川の治水

河川管理者(紀南河川国道事務所)から熊野川の治水についての説明があり、その内容について質疑応答が行なわれました。委員から河川管理者への主な質問は以下の通りです。

- ・雨量の大小と流量の大小の関係について説明してほしい。
- ・市田川と相野谷川で流量算定式が異なる理由を教えてください。
- ・ダムの洪水貯留の実態について解りやすく整理してほしい。
- ・現在の流量はダムに助けられている。この計画流量でよいのか整理してほしい。
- ・十津川流域と北山川流域で堆砂量に差が見られるが、この差についての見解を聞きたい。
- ・ダム竣工からの経過年数と堆砂量の関係について猿谷ダムを含め整理してほしい。
- ・明治22年の十津川大水害に対する河川管理者としての見解を教えてください。洪水の歴史を科学的に検討することも必要ではないか。
- ・年平均降雨量について、地球温暖化の観点で検証したい。地域単位と流域全体での降雨量の経年変化はどのようなものか。
- ・治水面の検討には数値データだけではなく、自然の保水力や環境など、数値として表現できないものも重要ではないか。

4. その他

(今後の進め方)

専門的な事項を検討するための部会の設置や設立時期についての提案が行なわれました。また、各委員は収集データの解析法等について、河川管理者に意見を述べるよう要請されました。

(傍聴者からの主な意見)

- ・土砂投入による水質浄化や、十津川上流の堆積土砂を七里御浜の海岸侵食対策に活用する方策の実現性について教えてください。

第3回熊野川懇談会以後の活動報告

第3回懇談会の審議内容を受けて、以下の会が開催されました。

第3回 熊野川懇談会

開催日 平成17年8月1日(月)

開催場所 紀宝町生涯学習センター まなびの郷

補充委員選考会

開催日 平成17年8月20日(土)

開催場所 和歌山JAビル(非公開)

参加者 委員4名(設立準備会委員、運営委員)

<審議概要>

竹中委員の辞任に伴い、委員、河川管理者、市町村が推薦した候補者を対象に補充委員の選考会が開かれ、古田皓氏(テレビ和歌山取締役報道局長)が懇談会委員に選考されました。

第1回 課題検討会

開催日 平成17年8月20日(土)

開催場所 和歌山JAビル(非公開)

参加者 委員11名、河川管理者等3名

<審議概要>

補充委員の選考経過報告の後、「熊野川を語る会」の運営方法、河川整備上の課題を議論するために必要なデータ等について審議が行われました。

< 熊野川を語る会 >

流域内の6箇所で開催されました。開催日、開催場所等は以下のとおりです。

開催日	開催地	対象地区	参加委員	話題提供者	傍聴者
10月22日	十津川村 住民ホール	十津川村	10名	十津川村6名	15名
11月26日	紀宝町 保健センター	紀宝町(鵜殿村含む) 御浜町 熊野市(紀和町除く)	7名	紀宝町2名 鵜殿村1名 熊野市1名	18名
11月27日	下北山村 きなりの郷	北山村、下北山村 上北山村	7名	北山村2名 下北山村3名 上北山村2名	16名
12月11日	五條市大塔町 ふれあい交流館	五條市大塔町 野迫川村、天川村	7名	五條市大塔町2名 野迫川村3名 天川村2名	6名
1月14日	新宮市 職業訓練センター	新宮市 (熊野川町除く)	12名	新宮市5名	46名
1月15日	新宮市熊野川町 熊野川 総合開発センター	新宮市熊野川町 田辺市本宮町 熊野市紀和町	10名	新宮市熊野川町3名 田辺市本宮町2名 熊野市紀和町1名	14名
計	6箇所	12市町村		35名	115名

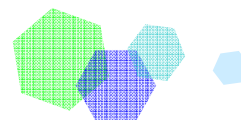
第4回 熊野川懇談会

新任委員紹介

補充委員選考会での審議の結果、竹中委員の後任として古田皓氏が懇談会委員に選考されました。

氏名・所属(敬称略)	経歴	これまでの主な活動
ふるた あきら 古田 皓 テレビ和歌山 取締役報道担当	1946年北海道生まれ 73年にテレビ和歌山入社後、営業課長、報道部長、報道局長、取締役報道局長を経て現職に就任	紀の川流域委員会 委員 和歌山県道づくり懇談会 委員(座長) 近畿のみちを考える懇談会 委員 河川文化ディスカバリー・フォーラム in 和歌山 「紀の川<過去・現在そして未来>を考える」 「世界遺産にふさわしいみちのありかた」 ~シーニックパイウェイに関するシンポジウム~等

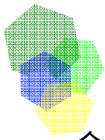
「熊野川を語る会」での主な話題



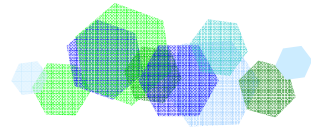
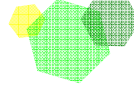
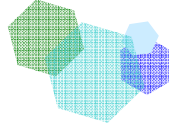
語る会では、地元の方々からそれぞれの地域の現状や熊野川についての情報が提供され、意見が述べられ、想いが語られました。また、これらの話題について懇談会委員との間で意見交換が行なわれました。

< 地区別の話題の主な内容 >

開催地	話題の主な内容	会場写真
新宮市 <対象地区> 新宮市 (熊野川町除く)	熊野川の川舟下りの現状や市内観光との連携への期待、川や流域の自然を活用した地域振興策、熊野川の治水安全度および計画流量、市田川に関する EM を活用した河川浄化活動、熊野の山林の危機的な状況などについて話題提供がありました。また、熊野川の景観に対する要望や市田川の浄化方法、山林の再生などについて意見交換が行なわれました。	< 新宮地域職業訓練センター > 
紀宝町 <対象地区> 紀宝町 御浜町 熊野市 (紀和町除く)	熊野川の濁水や流量の変化が生物や川の姿に与える影響、熊野川流域の貴重植物の話、河床変動やゴミの現状、熊野川を活用した地域活性化のための取組み、七里御浜の海岸浸食の現状および海亀の産卵への影響、森林の荒廃状況などについて話題提供がありました。また、筏流しや川原町などの川の文化の復元方法、海岸侵食の実態と鶴殿港の影響、海亀の産卵行動の変化、砂利採取と河床高さの関係、森林再生への取組みなどについて意見交換が行なわれました。	< 紀宝町保健センター > 
新宮市 熊野川町 <対象地区> 新宮市熊野川町 田辺市本宮町 熊野市紀和町	瀨峡の自然の豊かさや外来魚の現状についての話があった他、熊野川本川における河床変動や濁水、砂利堆積の現状や川のあるべき姿、維持流量に関するこれまでの経緯や今後の動き、洪水時の水害の様子やダム放水に伴う急激な流量の変化が河川や住民に与える影響などについて話題提供がありました。歴史的な話として、江戸時代の熊野川の河床の状況や熊野川が参詣道として果たした役割なども紹介されました。	< 熊野川総合開発センター > 
十津川村 <対象地区> 十津川村	十津川村の歴史、自然、温泉等を活かした村づくりの話や熊野古道の整備の話、ほとんど瀬や淵がなく子供たちが川で釣りや水泳が出来ないといった川の現状、林業の衰退、高齢化等の問題により山の整備が思うに任せない状況などについて話題提供がありました。また、ダムのために本来あったであろう清流が失われた事への不満や今あるダムや山林を活用して村づくり、山作りを進めようという話、きれいな水を供給するのは上流の義務、上流と下流のネットワークが重要といった地域の連携に関する意見もありました。	< 十津川村住民センター > 
五条市 大塔町 <対象地区> 五条市大塔町 野迫川村 天川村	土砂流入、流木、放流水の水質等のダムに関する話があった他、高野龍神スカイラインからの排水やゴミの不法投棄による最上流域の環境問題、林業の衰退に伴い整備が追いつかない山林の状況等の話題提供がありました。また、天川村については、40年代の生活廃水による水質汚染とその後の対策そして現在の水文化創造への取組み、ホテルによる地域振興策の現状と河川工事の濁水によるホテル繁殖地への影響などについて話題提供がありました。	< 大塔町ふれあい交流館 > 
下北山村 <対象地区> 北山村 下北山村 上北山村	北山川の過去の美しい姿の話や、濁りや川底の泥などの水質に関する話、魚などの生き物の現状、筏流しやブラックバス釣りなどの地域振興に関する話、ダム下流の維持用水、ダム湖の砂利堆積とその対策などについて話題提供がありました。また、シカの食害や林道整備などによる山地の荒廃の現状や、山林整備の方策、堆砂した砂利の処分方法などについて意見交換が行なわれました。	< 下北山村きなりの郷若者センター > 



閲覧資料設置場所



会議資料、議事録、「くまこんだより」は下記の関連機関にて閲覧することができます。

区分	事務所名	所在地	
国機関	近畿地方整備局河川計画課	〒540-8586 大阪市中央区大手前 1-5-44	
	紀南河川国道事務所調査課	〒646-0003 田辺市中万呂 142	
	紀南河川国道事務所新宮川出張所	〒647-0051 新宮市磐盾 1-8	
	紀の川ダム統合管理事務所	〒637-0002 五條市三在町 1681	
	猿谷ダム管理支所	〒637-0408 五條市大塔町辻堂	
県機関	和歌山県 県土整備部 河川課	〒640-8585 和歌山市小松原通 1-1	
		東牟婁振興局 新宮建設部	〒647-8551 新宮市緑ヶ丘 2-4-8 東牟婁総合庁舎内
		西牟婁振興局	〒646-8580 田辺市朝日ヶ丘 23-1
	三重県	県土整備部 河川室	〒514-8570 津市広明町 13 本庁 5 階
		紀南県民局 企画調整部	〒519-4393 熊野市井戸町 371 熊野庁舎 2 階
	奈良県	土木部 河川課	〒630-8501 奈良市登大路町 30
		吉野土木事務所 計画調整課	〒639-3111 吉野郡吉野町上市 2294-1
		吉野土木事務所 工務第 3 課	〒639-3701 吉野郡上北山村河合 420-1
		吉野土木事務所 天川駐在所	〒638-0305 吉野郡天川村沢谷 58
		五條土木事務所	〒637-0004 五條市今井 5-1-31
		五條土木事務所 工務第 3 課	〒637-1103 吉野郡十津川村上野地 356-1
	市町村役場	和歌山県	新宮市役所企画調整課
新宮市熊野川行政局			〒647-1294 新宮市熊野川町日足 324
田辺市本宮行政局			〒647-1792 田辺市本宮町本宮 219
北山村役場総合政策課			〒519-5603 東牟婁郡北山村大沼 42
三重県		紀宝町役場企画調整課	〒519-5701 紀宝町鶴殿 324
		熊野市役所市長公室企画係	〒519-4392 熊野市井戸町 796
		御浜町役場総務課	〒519-5292 南牟婁郡御浜町阿田和 6120-1
		熊野市紀和庁舎	〒519-5413 熊野市紀和町板屋 78
奈良県		十津川村役場生活環境課	〒637-1333 吉野郡十津川村小原 225-1
		下北山村役場地域振興課	〒639-3803 吉野郡下北山村寺垣内 983
		上北山村役場地域振興課	〒639-3701 吉野郡上北山村河合 330
		野迫川村役場建設課	〒648-0392 吉野郡野迫川村北股 84
		五條市大塔支所	〒637-0408 五條市大塔町辻堂 41
天川村役場総務課	〒638-0392 吉野郡天川村沢谷 60		

掲 示 板

第 5 回熊野川懇談会のお知らせ

第 5 回熊野川懇談会を以下のとおり開催いたします。公開され傍聴できますので、熊野川に関心をお持ちの方は直接会場までお越し下さい。

開催日時 平成 18 年 7 月 1 日(土) 13 時 30 分～16 時 30 分(入場時間 13 時～13 時 30 分)

開催場所 紀宝町生涯学習センター まなびの郷 きらめきホール

資料の入手方法

懇談会資料は、懇談会 HP よりダウンロードできます。

ホームページアドレス

<http://www.kumanogawa.org/>

なお、郵送を希望される方は、電話・FAX・Eメールにて庶務までご連絡ください。送料負担の条件で提供いたします。(庶務の連絡先は裏表紙をご覧ください)

ご意見受付方法

熊野川懇談会へのご意見を受け付けております。FAX・Eメールにて庶務まで送信してください。

FAX : 06-6599-6050

E-mail : info@kumanogawa.org

熊野川懇談会 ニュース No.4

【編集・発行】 熊野川懇談会

2006年3月 発行

【連絡先】 熊野川懇談会 庶務

三井共同建設コンサルタント株式会社 関西支社内（担当：中條・楠）

〒552-0007 大阪市港区弁天1丁目2番1-1000号

（オーク1番街10階）

TEL : 06-6599-6025

FAX : 06-6599-6050

E-mail : info@kumanogawa.org

熊野川懇談会 ホームページアドレス <http://www.kumanogawa.org/>
